

令和5年度(令和6年度実施)事務事業評価

事業整理番号 0502 - 11

事務事業名	民間事業者等による公衆喫煙所設置等助成事業	担当組織	環境清掃部	環境保全課
-------	-----------------------	------	-------	-------

事業特性												
	事業開始年度	4年度		事業終了年度	計画/一般		計画	計画事業No.	5-	2-	3-	7
	単独/補助	国・都補助+区上乗せ事業		運営形態	直営		関連するSDGsゴール	3	11	12	14	15
事業を構成する予算事業	①	民間事業者等による公衆喫煙所設置等助成事業経費			②							
	③				④							
	⑤				⑥							

政策体系(令和5年度基本計画)			
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち	政策	環境の保全
施策	地域美化の推進	政策番号	5-2-3
関連する個別計画	無	計画策定年度	計画期間

1. 事業の概要・指標の達成状況										
(1)実施の対象(具体的に記載)	区内の土地又は建物を所有する者、区内の土地又は建物を使用する者									
(2)事業の目的・期待する効果	喫煙者と非喫煙者の両立を図り、望まない受動喫煙や路上喫煙の防止を目的とする。									
(3)事業概要	路上喫煙・ポイ捨て及び受動喫煙を防止するため、民間事業者等による公衆喫煙所の設置及び維持管理に要する費用を助成する。									
(4)目標の達成状況	5年度の取組内容 5年度に実施した具体的な業務内容	西池袋3-29-7ファミリーマート立教通り店に助成金を活用した喫煙所を1件設置し、令和4年度に設置したWACCA 池袋5階の喫煙所維持管理費の助成を行った。								
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)		5年度(実績) (達成率)		6年度(計画値)
	①	路上喫煙率	→	%	0.03	0.05	0.03	140.0%	0.04	
	②	苦情件数	↘	件	314	300	306	98.0	300	
	③									
指標の説明	①路上喫煙率とは、所定の時間帯に区内全駅前で行う調査の際、路上喫煙者延べ数/通行者延べ数(成人)により算出した比率									
達成状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
(5)取組実績	活動指標 事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)		5年度(実績) (達成率)		6年度(計画値)
	①	公衆喫煙所の設置件数	↗	件	1	3	1	33.3	2	
	②									
	③									
	指標の説明	①公衆喫煙所の設置件数とは、当該事業の補助金を活用して設置した喫煙所の件数								
達成状況	未達成	未達成または一部未達成の理由 豊島区内で喫煙所を設置する場所の確保が困難であり、想定していた件数を達成できなかったと考えられる。								

2. 事業費の推移									
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)		4年度		5年度			6年度		
		予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R5決算比)	
事業費	A	12,000	3,443	14,400	4,197	29.1%	18,400	14,203	
財源内訳	国、都支出金	6,000	1,721	6,000	2,000		8,000	6,000	
	使用料・手数料							0	
	地方債・その他							0	
一般財源	C=A-B	—	1,722	—	2,197		10,400	8,203	
正規職員人数※小数点第1位まで		0.9	名	0.9	名		0.9	名	
会計年度人数※小数点第1位まで		0.7	名	0.7	名		0.7	名	

3. 総合評価及び令和6年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和5年度成果と課題	【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価	B	根拠	活動指標が未達成のため																																			
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。																																						
①目標に対する成果状況を踏まえた課題																																							
民間事業者等による公衆喫煙所設置助成制度についての周知が十分ではない。																																							
②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)																																							
助成金を活用した喫煙所の1日の利用者数 ■令和4年度設置:平均500人程度 ■令和5年度設置平均:800人程度																																							
(2)業務(事務)改善に向けての取り組み	【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	1件あたりの設置助成額を倍増した。																																			
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。																																						
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)																																						
	民間事業者等による公衆喫煙所設置助成制度についての周知が十分ではない。																																						
②現状の実施状況における所管課の認識																																							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。</td> <td>無</td> <td>選択した理由</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。</td> <td>有</td> <td>選択した理由</td> <td>区が公衆喫煙所を設置することが困難なため、当該補助金を創設した。</td> </tr> <tr> <td>サービスに係るコストは適正か</td> <td>適正</td> <td>選択した理由</td> <td>他自治体の助成金額と比較しても乖離している状況ではないため。</td> </tr> <tr> <td>統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。</td> <td>無</td> <td>(有の場合)事業名</td> <td></td> </tr> </table>					事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択した理由		直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択した理由	区が公衆喫煙所を設置することが困難なため、当該補助金を創設した。	サービスに係るコストは適正か	適正	選択した理由	他自治体の助成金額と比較しても乖離している状況ではないため。	統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																				
事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択した理由																																					
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択した理由	区が公衆喫煙所を設置することが困難なため、当該補助金を創設した。																																				
サービスに係るコストは適正か	適正	選択した理由	他自治体の助成金額と比較しても乖離している状況ではないため。																																				
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																																					
③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況																																							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>対応、改善を既に行った</td> <td>はい</td> <td>はい</td> <td>取組内容及び効果</td> <td>不動産団体への周知を行った。</td> <td>予算措置</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td colspan="7">はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)</td> </tr> <tr> <td>対応、改善の予定</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>対応、改善の予定がない理由</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>対応、改善の内容</td> <td colspan="3">商店会、法人会、商工会議所などの産業団体や区政連絡会を通じて周知を行い、活用を促進していく。</td> <td>予定時期</td> <td>令和6年度</td> </tr> <tr> <td>予算措置</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>予算措置を伴わない実施との比較検討</td> <td></td> <td>予算措置を伴う理由</td> <td></td> </tr> </table>					対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	不動産団体への周知を行った。	予算措置	無	はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)							対応、改善の予定	有	無	対応、改善の予定がない理由				有	対応、改善の内容	商店会、法人会、商工会議所などの産業団体や区政連絡会を通じて周知を行い、活用を促進していく。			予定時期	令和6年度	予算措置	無	有	予算措置を伴わない実施との比較検討		予算措置を伴う理由	
対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	不動産団体への周知を行った。	予算措置	無																																	
はい・いいえどちらも(はいの場合は更なる対応・改善の予定)																																							
対応、改善の予定	有	無	対応、改善の予定がない理由																																				
有	対応、改善の内容	商店会、法人会、商工会議所などの産業団体や区政連絡会を通じて周知を行い、活用を促進していく。			予定時期	令和6年度																																	
予算措置	無	有	予算措置を伴わない実施との比較検討		予算措置を伴う理由																																		
(3)必要性/優先度	【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	路上喫煙や受動喫煙を防ぐうえでも、区が積極的に実施する必要がある。																																			
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。																																						
	①区が実施する理由(複数選択可)																																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック</td> <td>法律の要請を受けて行う事業である。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。</td> <td>その他(理由)</td> </tr> </table>				<input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	法律の要請を受けて行う事業である。	<input type="radio"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	その他(理由)																																
<input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	法律の要請を受けて行う事業である。																																						
<input type="radio"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	その他(理由)																																						
②区民ニーズ																																							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>区民ニーズを表す指標</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>指標番号(成果)</td> <td>苦情件数</td> <td>指標番号(活動)</td> <td>サービス利用者数</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推移</td> <td>→</td> <td>推移</td> <td></td> </tr> </table>				区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(成果)	苦情件数	指標番号(活動)	サービス利用者数				推移	→	推移																							
区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(成果)	苦情件数	指標番号(活動)	サービス利用者数																																	
			推移	→	推移																																		
有・無どちらも 区民ニーズに対する認識 路上喫煙等に関する苦情は約300件以上あり、行政による路上喫煙・ポイ捨て防止対策に対するニーズは高い。																																							

総合評価(d) = a + b + c	ランク2
---------------------	------

4. 【前年度事務事業評価対象事業のみ】改善に向けた取組内容について

(前年度事務事業評価表) 4「所管課の認識・R5年度以降の対応」を記載	目標である3件の公衆喫煙所設置実現に向け、引き続き、助成制度の周知及び設置を検討している事業者への丁寧な説明や働きかけを行っていく。
上記の改善に向けて取り組んだ内容を記載(未着手の場合には理由を記載)	たばこ販売事業団体、たばこ販売事業者、コンビニ等に向け、助成制度の周知を行い、新たに1件の設置を実現した。

改善に向けた取組内容についての自己評価 (e)	予定通りに進まなかった	根拠	豊島区内で喫煙所の設置場所の確保が非常に困難である。
-------------------------	-------------	----	----------------------------

5. 令和6年5月末時点の状況

①令和6年度当初の課題・ニーズ	令和5年度に助成金を活用した喫煙所の1日あたりの利用者者数は約800人であった。区民から公衆喫煙所の設置を望む声も寄せられており、助成金を活用した公衆喫煙所の需要は高いことがわかるため、継続的に当該事業を行う必要がある。
②国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	令和7年度以降、都補助金が継続されるか不透明である。
③令和6年度の方向性・取組方針(事業展開)	不動産団体、商店会、法人会、商工会議所などの産業団体や区政連絡会を通じての周知を行い、活用を促進していく。
④令和6年度の事業進捗状況	不動産団体やたばこ販売事業団体、たばこ販売事業者等へは、制度概要や助成額の増額についての周知を行っており、設置に関する数件の問い合わせが寄せられている。
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	受動喫煙・路上喫煙・ポイ捨ての防止には公衆喫煙所の整備も必要である。区として喫煙所の整備を図り、喫煙者而非喫煙者の両立を図っていくべきといった意見が寄せられている。
⑥上記⑤に対する対応	設置場所の選定など、区が公衆喫煙所の整備を行うことも検討しつつ、助成金を活用して民間事業者に喫煙所の整備も同時に進めていく。

-----以降の項目は、評価内容を踏まえて管理職が記載してください-----

今後の事業費予算要望 (f)	現状維持	根拠	公衆喫煙所整備の必要性から令和7年度以降も制度は継続していく。
----------------	------	----	---------------------------------

今後の事業の方向性(d+e+f) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	B	※eは該当の事業のみ加味
-------------------------------------------	---	--------------

上記判断と今後の事業の方向性を踏まえ、令和6年6月以降に向けての対応を記載(改善方法、課題への対応など)

不動産団体、商店会、法人会、商工会議所などの産業団体や区政連絡会を通じての周知を行い、12月までに2件の申請を目指す。

年間苦情件数や区民の意見・要望内容からも、喫煙所の整備は喫緊の課題であり、申請数が伸び悩んでいるのは維持管理経費が低額であることが原因であるため、令和7年度以降の予算化に向けて、設置助成額や維持管理経費の増額・助成範囲の検討を行っていく。